



令和3年度
神戸大学大学院保健学研究科市民講座
「最新の研究から家庭の保健・医療へ」

開 講 日: 令和3年10月10日(日) 13:00~

開 講 場 所: 神戸大学大学院保健学研究科
※対面・オンライン配信での同時開催

定員(対面受講): 50名(先着受付順)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、対面での開催を中止し、オンライン視聴のみの開催となりますので、ご了承ください。(オンライン視聴の定員はありません)

受 講 対 象 者: 一般市民・学生(高校生以上)

受 講 料: 無 料

受 講 申 込 受 付: 令和3年 9月 3日(金) ~10月 4日(月)

応募フォームからの受付	【 http://www.ams.kobe-u.ac.jp/citizen/contact_PL.html 】より必要事項を入力の上、応募願います。
申し込み用紙からの受付	上記の受付期間内に受講申込書に必要事項を記入の上、郵送・FAXにて下記申込先へ送付願います。

※後日対面聴講の可否、またはオンライン聴講に関するアドレスについて、改めてお知らせいたします。

講 義 日	時 間	講 義 題 目	講 師
10月10日(日)	13:00~13:10	開 講 式	保健学研究科長 安 田 尚 史
	13:10~14:10	「がん」は不治の病でない	保健学研究科 教授 堀 裕 一
	14:20~15:20	新型コロナウイルスのワクチン	科学技術イノベーション研究科 保健学研究科 教授 白 川 利 朗

フェスタ
国立大学2021

申込先・問い合わせ先:
神戸大学大学院保健学研究科 総務係
〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目10番2号
TEL:(078)796-4502
FAX:(078)796-4509
E-mail:ghs-soumu@office.kobe-u.ac.jp

講義要旨

『「がん」は不治の病でない』

病態解析学領域 教授 堀 裕一

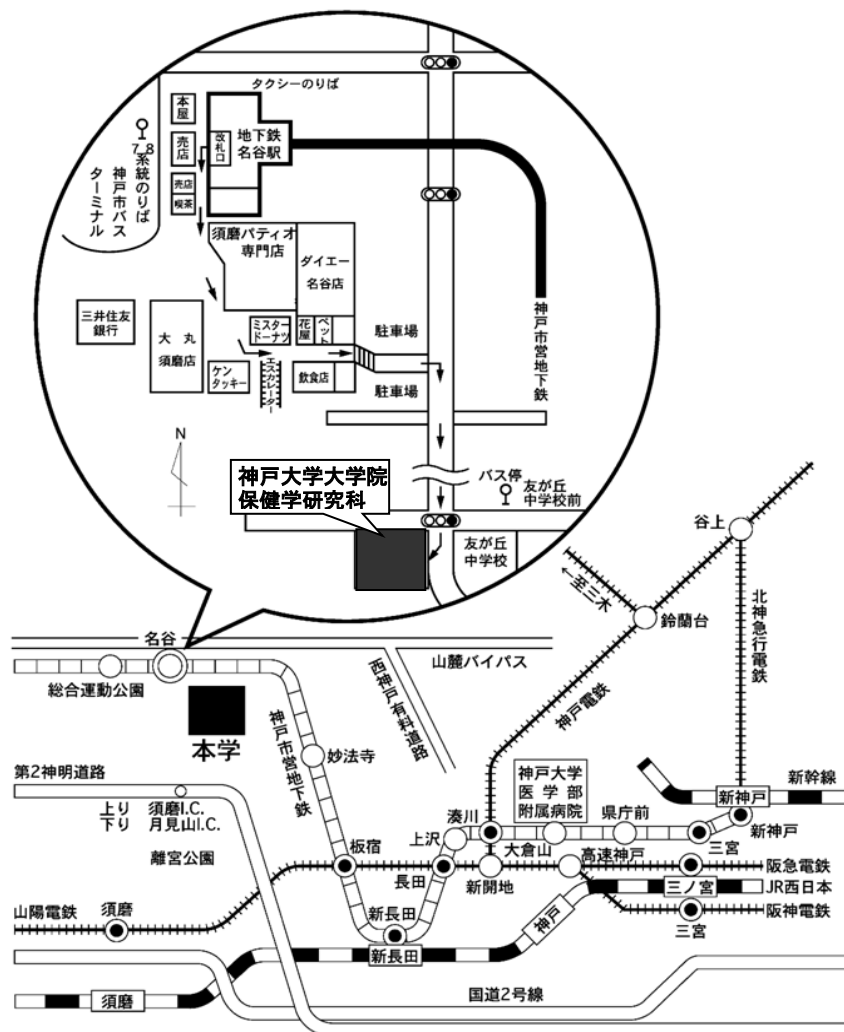
近年の統計から、日本人の2人に1人が生涯に一度は「がん」にかかり、男性の4人に1人、女性の6人に1人が「がん」で死亡すると推計されています。一方で、診断や治療技術も急速に進歩しており、「がん」患者全体の5年生存率は60%を超えています。「がん」を経験した人や治療を継続している「がんサバイバー」の数もすでに700万人を数え、「がんは国民病」といえる時代になりました。がんは「不治の病」から、「慢性疾患」になったことを理解していただくため、わかりやすく解説します。

『新型コロナウイルスのワクチン』

科学技術イノベーション研究科・保健学研究科 教授 白川利朗

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックが、当初の予想以上に長期に続いています。また、パンデミック終息後も、流行前と全く同じような日常生活には戻らないとの意見もあります。しかしながらアフターコロナの日常生活の早期確立のために、ワクチン接種が最も有力な方法であることには疑いの余地はありません。実際、ワクチン接種が進む英国や米国では、日常、社会生活に大きな変化が見られます。今回、COVID-19 ワクチンの作用機序や現在、開発中の世界のワクチンについて概説します。

会場



利用交通機関

- ▶ 神戸市営地下鉄「名谷駅」下車、南へ徒歩約15分。
(神戸市営地下鉄「三宮駅」～「名谷駅」間約20分)
- ▶ 市バス・78系統「友が丘中学校前」下車徒歩3分。

◎印は他線との乗換え可能な駅を示す